



『 緑内障について 』

緑内障は、年齢を重ねると増えていく病気のひとつです。

高齢になるに従って増加し、四十歳以上の二十人に一人は緑内障と言われており、決して珍しい病気ではありません。

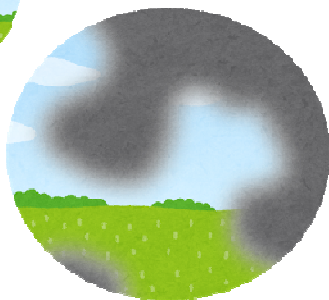
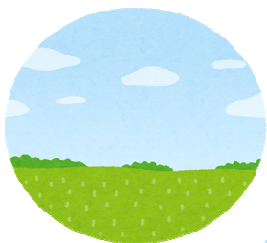
皆さんは緑内障がどのような病気かをご存じでしょうか。何らかの原因で視神経が障害され、視野（見える範囲）が狭くなる病気で、眼圧の上昇がその原因の一つとされています。

多くは症状がないまま進行し、失った視野は取り戻すことができません。放置していると失明の危険性があるととても厄介な病気です。

緑内障から失明を防ぐ為には早期発見が大切で、まずは職場や自治体等の健康診断や眼科受診することをお勧めします。

従来 of 眼圧・視野・眼底検査でも殆どの緑内障の診断ができますが、近年普及したOCTという検査機器は、目のMRIともいわれ、痛みを伴わない数十秒の検査で視神経の障害を精密に測定することが可能です。

眼科の検査は、痛みがなくて、負担の少ない検査ばかりですので、時々眼科に足を運んで検査をしてみてください。



厚生連病院 視能訓練士

寺澤 伸羽